

教員養成から見た特別支援教育

成山 治彦（かたつむり21参与）



SG後援会「かたつむり21」の皆様、ご無沙汰ばかりで申し訳ございません。「せめてもの罪滅ぼしに文を書け」と黒川会長からご指示がありまして、筆を取らせていただきました。

さて、私が障害児教育の問題に取り組み始めたのは、大阪府立柴島高校に赴任したときからです。昭和54年のことでした。柴島高校が地元の中学校を卒業した重度の知的障害のある青年と交流を始めた年でもありました。交流の部屋で授業をしたり、私の担任していた学級で交流行事を取り組んだりしました。その中で、教員の私たちがどのようにコミュニケーションを取ったらいいのか、教材はどういうものを用意したらいいのか、行事や特別活動のときにはどうということに気をつけなければならないのか、今から考えたら素人考えの稚拙なものでしたが、それでも一生懸命みんなで工夫しました。

高校の教員は「生徒は先生の言うことが分かって当たり前、できて当たり前」という姿勢で生徒に接していたのが当時の実態でしたから、障害のある青年を前に戸惑いながらも、教育とは何か、教師はどうあるべきかについて学ぶ機会にもなりました。そして、この取り組みがもととなって、黒川会長が大阪府教育長の時に、「高等学校における知的障害生徒の受け入れ」調査研究事業を開始され、その結果を受けて9校の府立高校に「自立支援コース」が設置され、さらに平成22年度には「たまがわ高等支援学校と連携した共生推進校」も4校に拡充されます。

現在、特別支援教育では「個別指導計画」や「個別支援計画」を一人ひとりのこどもについて作成することになっていますが、その精神は、それぞれの子どもが自立

して社会参加できるようにするために、どういう指導を行い、支援するかについて、教員は目的意識と計画性をしっかり持つということにあると私は考えています。しかし、考えてみれば、そのことはすべての子どもに通じる「教育の基本」でもあるのです。

また、今、特別支援学校だけでなく、多くの学校には特別支援学級が設置されていますし、通常の学級には発達障害の子どもも多く学んでいます。したがって、特別支援教育の免許を持った教員だけでなく、すべての教員が障害のある子どもたちと出会うわけですから、障害の特徴を理解して、それぞれの障害に対応した適切な指導ができるようになることが求められます。

平成9年に法律が制定され、義務教育諸学校の教員免許を取得するために、社会福祉施設と特別支援学校での介護体験が平成10年度から義務づけられました。本学でも、その時期になりますと、多くの学生が実習に出かけます。法律の目的は、体験を通して障害者に接し、人の心の痛みのわかる教員、各人の価値観の相違を認められる心を持った教員になってほしいということですが、私は単に「心の有り様」の問題としてではなく、教員になる以上は、この制度を活かして、学生がしっかりと障害者理解を深め、障害児教育の精神である「教育の基本」を学び取ってきてほしいと願っています。

（国立大学法人・大阪教育大学理事）

新会員のご紹介

明石 一朗さん（貝塚市立西小学校長）

中間 秀行さん（SG会計・大阪ガス(株)勤務）

SG後援会「かたつむり21」

会長：黒川 芳朝 事務局長：松木 彰造

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-12

TOWAローゼンビル長堀403

電話・FAX：06-6264-1919

ホームページ：<http://katatsumuri21.jimdo.com>

事務局 Mail：qmdtj092@ybb.ne.jp



大変な盛り上がりでした

林 隆夫(2009 Autumn Camp キャンプ長)

2008年は中止のやむなきに至りましたが、2年ぶりのAutumn Campは、地球温暖化の影響?か11月とは思えない温かさで我々を迎えてくれました。

プログラムはいつものように旗揚げに始まり、オリエンテーション、グループタイム、豪華な夕食、キャンプファイヤーと進み、秋の能勢を堪能しながら大いに盛り上がりました。

恒例のナイトミーティングではSGが発足させる新しい活動であるS・M・C(SG Monthly Club)の活動のあり方について活発な意見交換を行いました。結論としてはとにかく新しい活動に第一歩を踏み出そうと全員で意思統一を行いました。その後すでにS・M・Cの活動がスタートしているのはご存じの通りです。

また、今年のメインプログラムの一つは翌日の「ゲートボール大会」でした。それぞれのチームのユニフォーム、ステックも全員で作製し、黒川さんから厳格なルールの説明、指導を受け、真剣勝負の競技を行いました。なかなか思うように高得点はあげられませんでしたが大変な盛り上がりでした。

今年もAutumn Campを開催したいと思います。皆さん、一緒に大いに盛り上がりましょう。

(参加者：17名〔内訳・障害者2名、かたつむり7名、SG7名、ヘルパー1名〕)



ゲートボール って、結構おもしろい !!



下鶴 央展 (SG委員長)

SG委員長の下鶴です。今更ながら、オータムキャンプに参加するのは今年が初めてで、話は聞いていましたが、SGキャンプの原点でもあるキャンプ場と言う事でとても楽しみにしていました。キャンプ場は思っていた以上に便利な施設で、食堂もバーベキューが出来たり、台所も使いやすそうでした。ただ、トイレは車椅子用が無いのが残念です。特に、今年からは〈S・M・C〉活動のひとつになるので、改善できれば良いと思います。

今回のキャンプには、直樹君、香さんの二人が参加してくれました。僕はお昼から集合して、現地について夜のバーベキューの準備をしました。火を起こしましたが、なかなか難航し食事の時間が来てもまだ火は着かず、か

なり苦労しました。バーベキューはお酒も入って何だかんだと夜遅くまで飲んで、とても楽しかったです。

次の日は、メインイベントのゲートボール?をみんなでしました。これが結構おもしろい!みんな夢中で、年の差やハンディも気にせずに行えるゲームで毎年恒例になりそうです。僕はゲームに参加しながら焚き火ついでに焼芋を焼いていましたが、これが絶妙な焼き加減!で自画自賛でした…さすが俺様。今年もっとたくさんのキャンパーに参加してもらいたいし、より楽しいキャンプにしたいです。



また誘って下さい

秋山 成人 (元キャンパー)

昨年の能勢のキャンプ、久しぶりにみんなに会えてとてもうれしかったです。夜のキャンプファイヤー、みんなで食べたご飯、ペットボトルで作って

やったゲートボール、楽しい1泊2日でした。

僕は今、昼間は作業所、夜はグループホームで過ごし、週末に自宅に帰る生活をしています。これからも、いろいろなところに出かけて行き、いろいろな人たちと関わっていきたくと思います。これからは行事があれば参加したいので誘って下さい。お願いします。

白石教授のパーティに行ってきました

本会参与・武庫川女子大学教授の白石大介さんの退職記念祝賀会が、3月13日に西梅田のホテル「ザ・リッツ・カールトン大阪」で開かれました。定年までまだ数年あるようですが、65歳を機に決断したそうです。

白石さんはSG創立メンバーの一人で、3代目の委員長です。

本会からは私と浅利さん、松木さんが参加しましたが、大学関係者や教え子の皆さんに混じって、心温まるパーティを満喫してきました。皆さんのスピーチを聞いていると、どうも白石教授の授業は、SG時代と相も変わらず、ダジャレとジョークのオンパレードだった様子が解りました。

何と！本人挨拶の時には、神主の装束(写真)に着替える(別に謂われはなさそうです)という懲りようです。さすが SG出身者の面目躍如です。類は類を呼ぶと言いますか、200名近い参加者も賑やかな方ばかりでした。

参加者全員の前で、今後は、SGとかたつむり21に積極的に関わるといふ力強い約束を取り付けましたので、4月以降を楽しみにして下さい。(黒川 芳朝)

会員便り①

かたつむり21に入りました 中間 秀行(SG)



このたび、少しでも「かたつむり21」の財政基盤の強化にお役に立てばと、会員としてお世話になることになりました。ご存知の方も多いと思いますが、まず簡単に自己紹介させていただきます。年齢は46歳、大阪ガス(株)に勤務しております。

SGとの関わりは、今から約30年ほど前、中学生・高校生のときにSGキャンプのキャンパーとして参加させていただいたのがきっかけです。社会人になったときに当時のリーダーに“幸か不幸か?”お声をかけていただき、それ以来、SGメンバーになり、ここ10数年はSG委員会の一員として活躍?しています。



SG委員会としては、今年からスタートさせた月に1回の日常活動〈S・M・C〉を何とか定着させることに全力を注いでいます。もちろん〈S・M・C〉ばかりでなく引き続き夏のキャンプも成功させる必要があります。これらのためには、多くの新人を集め、学生や若手メンバーの参画が不可欠です。

このような新たな若いメンバーの力によってSG活動の企画、運営を行ってもらって、いずれいい形でパトントンタッチができたと思っています。

しばらくは二足のわらじを履きますが、当面はSGにウエイトをおくこととなりますので、どうぞよろしくお願い致します。

会員便り②

ご無沙汰しております

野田 孝子



皆さま、大変ご無沙汰しております。日々の雑事に追われ、気が付くとかたつむりの活動に、何も参加しないまま、何年もが過ぎてしまいました…。

サービスクループの活動に、ぜひ参加させたいと思っていた息子は、大学で大阪を離れ、今また就職で巣立っていきます。頼りなげに見えた息子も、大勢の方に支えられ見守られて、旅立ちの春を迎えました。

そんな姿に改めて、若い日の自分の不甲斐なさや、皆様に支えられ許され生かされた日々であったこと、今更のように感謝で一杯です。

仕事では、公益法人改革の真ただ中の職場において、世間の風を冷たく感じる日々ですが、いつの間にか一番の古株になりました。今は、硬い身体に鞭打って、月2回のヨガ教室と、職場の仲間と情報交換しながら、自然療法や健康づくりに励んだり、家族やみんなに支えられながら、なんとか無事に折り返し地点の過ぎた人生に、感謝する毎日です。

(旧姓：藤木)

第10回通常総会のお知らせ

日時：2010年5月23日(日)午後2時から

会場：大阪市中央青年センター(森の宮)

※ 午後5時半頃から懇親会も開催します。詳細はおって連絡致しますが、日程だけは押さえて下さい

今年はSG創立45周年を迎えます

記念事業等について、皆さまからアイデアを募りますので、どのようなことでも事務局までお寄せ下さい。



SG・かたつむり21合同新年会を開催

2010年1月24日(日) 午後6時～8時30分

会場：梅田「すーぱー百番」

参加者20名 (SG:12名、かたつむり：8名)



初めて参加しました



吉田 亮太 (SG “ボブ”)

こんにちは！僕は今回、この新年会に初めての参加だったのですが、まずメンバーの方々を見て、この団体の歴史を感じ驚きました。ユーモラスな方が多く、すごく楽しかったです。あと何人かの方と話をしたのですが、為

になる話もあり、自分自身ももっと頑張ろうという気持ちになりました。やはり自分より上の方々と話したら、勉強になることが多くとても良い時間が過ごせました。

だから僕ももっと成長して、皆さんのように社会でも団体でも活躍できるようになりたいです。最後に本当に今回参加できて色々勉強になりましたし、何より楽しかったです！

SGの活動報告・今後の予定

SG広報担当 松木 彰造

SGの新たな日常活動として毎月行う《S・M・C》を立ち上げました。今はまだ小規模な活動ですが、今後は障害児・者への参加呼びかけを広げ、キャンプと同様にSGの基幹活動に育てたいと考えています。

昨年はプレ行事としてオータム・キャンプやSGのクリスマス会に卒後の仲間に参加を呼びかけました。本年に入って活動は順調に滑り出していますが、参加するリーダーが固定化しつつあり、毎月定期的に継続するには、より多くのリーダーの参加が必要です。この活動を継続するためにも、ぜひ、新しいリーダーをご紹介下さい。

◆ 2009年11月以降の活動報告

1 秋の遠足 (11月29日(日) 11時～16時)

場所：鶴見緑地公園

参加者：障害児・者9名、保護者1名、リーダー14名

- 2 クリスマス会 (12月20日(日) 11時～16時すぎ)
場所：カラオケ「シダックス・大阪千日前クラブ」
参加者：障害児・者9名 リーダー11名
- 3 第1回S・M・C「もちつき会」(2010年1月24日(日) 9時～16時30分)
場所：神戸・岡本公会堂
参加者：障害児・者5名、リーダー：14名
- 4 第2回S・M・C「ひな祭りとお茶会」
(2月28日(日) 13時30分～16時過ぎ)
場所：住吉人権文化センター
参加者：障害児・者6名、保護者2名、リーダー9名

◆ 今後の活動予定

・第3回S・M・C「お花見会」(4月18日(日) 11時30分～16時)

場所：大阪城西の丸庭園

・SGサマーキャンプ

日時：8月13日(金)～8月15日(日)

場所：川西市・猪名川キャンプ場(昨年と同じ)

編集後記

寒暖の差が激しい毎日ですが、皆様、体調の方はいかがですか？

かたつむり21ではホームページも充実してきて、広報とともに新たな情報源となっています。感想、意見、載せてほしいことなど何でもお寄せください。

SGではS・M・Cという新しい事業をはじめ、新たな出会いが広がっていきばいいなあと考えています。

(清石 和子)

